

令和4年度当初予算（案）

躍動する兵庫へ ～第一歩を踏み出す予算～



兵庫県

Hyogo Prefecture

新しい成長の種をまく

- ・ スタートアップの育成強化
- ・ 中小企業等の革新(DX人材の育成等)
- ・ 地場産業・農林水産業の新展開
- ・ 新たな観光戦略の推進
- ・ 水素社会の推進(姫路港のCNP化等)
- ・ 特色ある学校づくり など



地域の価値を高める

- ・ 五国の魅力をもつ地域創生の推進
- ・ ひょうごフィールドパビリオン
- ・ チャレンジHYOGO就職大作戦の展開
- ・ スマートシティモデル事業の実施
- ・ 大阪湾ベイエリアの活性化
- ・ スポーツ・芸術文化の振興 など

安全安心の網を広げる

- ・ ヤングケアラー支援体制の構築
- ・ 発達障害児の保育園入園支援の拡充
- ・ 困難を抱える妊産婦の支援
- ・ 高齢者・障害者等の避難対策の推進
- ・ 災害に強い県土づくり
- ・ 防犯・交通安全対策の強化 など

これらを支える
SDGsにつながる施策群



■ひょうご水素社会の推進：3.5億円

水素社会の実現に向けた気運醸成を図り、産学官連携した取組の更なる加速化を図るべく、**知事をトップとした「ひょうご水素社会推進本部」を設置**し、県庁一体で取組を推進

●「ひょうご水素社会推進会議」の設置：214万円 ^{【新】}

2050年の兵庫水素社会の実現に向け、先導的取組を本格展開(県、地元自治体、企業、有識者により構成)

●水素を活用したI社[®]-地産地消E[®]導入：270万円

水素を製造・貯蔵・活用するI社[®]-の地産地消E[®]の構築・実装を目指した計画策定・施設設計

●カーボンニュートラル(CNP)形成計画の策定：3,000万円 ^{【新】}

姫路港におけるCNP(※)形成計画策定に向けた検討会や次世代エネルギーの需要推計等を実施

- ※CNP…以下の取組を通じ、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする港湾
- ・水素・燃料のモ等的大量かつ安定・安価な受入環境の整備
 - ・脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化
 - ・集積する臨海部産業との連携

連携

●成長産業における試作開発への支援：3,000万円 ^{【新】}

水素分野を含む成長産業分野における新製品の社会実装を目指す県内中小企業を支援(上限300万円)

●成長産業育成のための研究開発への支援：7,212万円

水素など成長産業分野に産学官連携で研究開発等に取り組む県内中小企業を支援(可能性調査：～100万円、応用研究：～1,000万円)

●水素ステーション等整備の促進：7,250万円 ^{【拡】}

燃料電池EV[®]の促進するため、水素ステーション、パッケージ型水素供給設備(※)、燃料電池バス[®]の導入費用を支援

- ※パッケージ型水素供給設備(右写真)
- ・規模は小さいが低コストで設置可能
 - ・移設が可能、設置リスクが低い
 - ・現地で水素を製造するため、輸送コスト不要



【新】■県有施設への再生可能I社[®]-導入ポテンシャル調査の実施：1,200万円

県有施設への太陽光発電導入を見据え、**未利用スペース等への導入可能性調査**を実施(県有施設の駐車場等 約500施設)

【新】■カーボンニュートラル実現に向けた国際フォーラムの開催：100万円

脱炭素社会の実現に向けた県民・事業者の意識向上を図るため、先進事例の紹介等を行う国際フォーラムを開催(令和4年12月予定)